

令和元年度（２０１９） 学校関係者評価委員会報告

鳥取県理容美容専門学校

1 開催日時 令和２年（２０２０）１月２７日（月）午前１０時～１１時３０分

2 会 場 鳥取県理容美容専門学校 第４教室

3 日 程

（１）理事長挨拶

（２）委員紹介、委員長決定

（３）報告・説明

①学校関係者評価委員会運営要綱について

②学校の現状と課題について

（４）協 議

①教育課程編成に関する評価について

②授業内容と研修に関する評価について

③生徒募集と生徒指導に関する評価について

④学校の施設・設備、その他教育環境に関する評価について

⑤その他学校運営全般に対する評価について

4 提言・協議決定事項等

（１）委員長の決定

（２）提言の内容

①学校の強みとなるところを生かすべきだ。（少人数授業と細やかで丁寧な指導）

地元で評価され愛される学校としてのコンセプト重視、学校外へのアピール。

県外への情報発信と学生募集にも取り組むべきだ。

②１、２年生の交流が少ないようである。

少人数を生かし１、２年生の交流を活発にするべきだ。

ＯＢも学生の将来のモデルとなるような人を積極的に招くようにするべきだ。

③理容科の学生が極端に少なくなっている。

理容業界、美容業界も含めて理容師・美容師の携わる業務内容の幅の広さ、可能性の高さをもっとアピールするべきである。

理美容業界も今後淘汰されていく。雇用環境も向上していく。業界からの魅力発信も図らなければならない。

④通信技術を使った授業や外部講師の指導を受ける環境を考える時代となっている。

⑤授業内容と研修に関する学校自己評価がＢとなっているが、評価があまいように思う。

授業内容や指導力の向上は最重要課題である。厳しい評価を元に職員研修等に取り組むべきだ。

（３）まとめ

学生数が減少する中、地域に根差し地元で評価される理容美容専門学校として、県内の理容師・美容師を目指す意欲の高い生徒をいかに本校へ集めるかという問題提起に対し、多くの高校生が県外の理美容専門学校へ進学をしている現状がある。

本校の活性化、魅力向上に対する方策について学校自己評価を元に、学校関係者評価委員から上記のような提言を受けた。本校の特色を生かしながら、学校としての教育力、指導力をより一層高められるよう職員研修に工夫を図りたい。